

India Weekly

2020年11月16日



(対象期間：2020/11/9～2020/11/13)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年11月13日)



【株式市場】

週初は、バイデン氏による米大統領選挙の勝利宣言を受けた世界的な株高の中でインド株式市場も上昇しました。その後も米製薬大手による新型コロナウイルスのワクチン治験結果を好感して11日まで続伸し、SENSEXなどの主要株価指数は過去最高値を更新しました。地方選挙でのモディ首相の与党連合の勝利も好感されました。12日は追加の景気刺激策が発表されましたが、週初からの大幅上昇を受けて利益確定売りに押されました。週間では上昇となりました。

2020/11/6	2020/11/13	変化率
41,893.06	43,443.00	+3.70%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年11月13日)

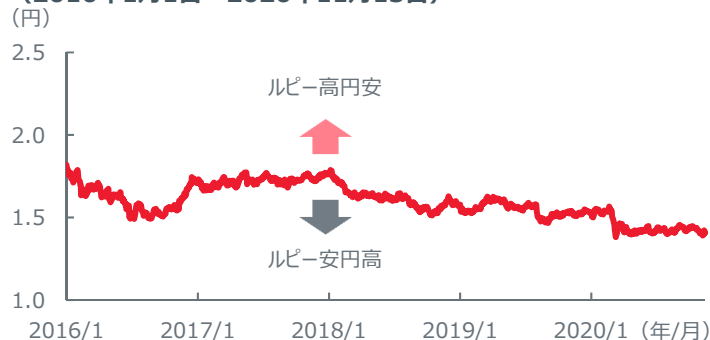


【債券市場】

週初、インド10年国債利回りは小動きとなりました。10日は12日の取引時間終了後に発表される消費者物価指数（CPI）への警戒感から利回りは上昇（価格は下落）しました。11日は、翌日予定されているオペレーションツイスト*への期待感から利回りは低下し、12日は小動きとなりました。CPIは市場予想を上回りましたが、これがピークとの思惑などから債券を買う動きが出て13日も利回りは低下しました。週間ではわずかに利回り上昇となりました。

2020/11/6	2020/11/13	変化幅
5.872	5.880	+0.008

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年11月13日)



【為替市場】

米大統領選挙結果の見通しが立ってきたことや、新型コロナウイルスのワクチンの治験結果を受けて世界的にリスクオンとなる中、経済活動の正常化に対する期待感などから原油価格が大幅に上昇したことが重石となり、ルピーは対米ドルで下落しました。一方、円も対米ドルで下落したことから、ルピーは対円では上昇しました。

2020/11/6	2020/11/13	変化率
1.391	1.408	+1.19%

* オペレーションツイスト：長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行い、長短金利を逆方向に動かす公開市場操作
出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。